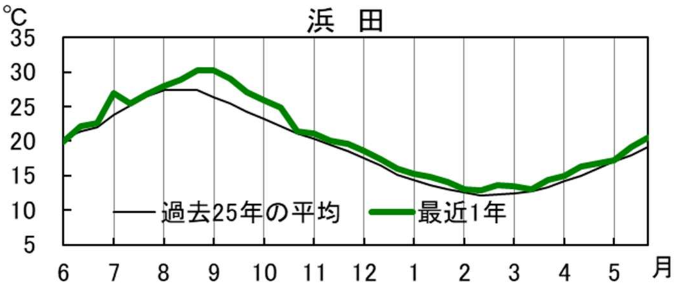
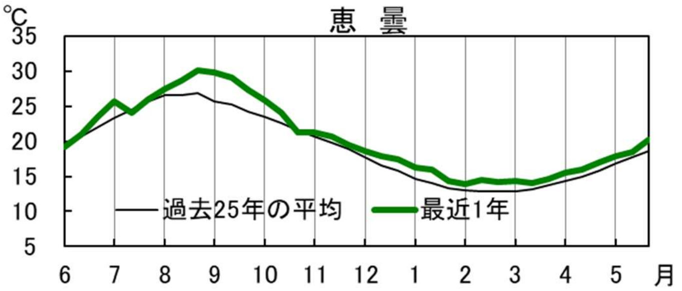
島根県水産技術センター　　令和8年6月30日発行

トビウオ通信　漁況速報（6月号）

（本誌はホームページでもご覧いただけます。）
https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/　　（TEL 0855-22-1720）

《5月の海況》





5月	浜　田			恵　曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	19.0℃	＋0.9℃	かなり高め	19.0℃	＋1.1℃
中旬	かなり高め			やや高め		
下旬	かなり高め			かなり高め		

《5月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の1.2倍、前年の7割、マアジは平年の2.0倍、前年の20倍、ウルメイワシは平年の6.0倍、前年の11倍でした。隠岐地区ではマイワシ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は118トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、マイワシは9,229トンで平年の2.2倍、前年の1.0倍、サバ類は3,919トンで平年の9割、前年の1.0倍、マアジは531トンで平年の4割、前年の漁獲は統計上ありませんでした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ（全体の55%）、ケンサキイカ（同45%）が主体で、1隻1航海当りの漁獲量は186kgで平年並みでした。西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカのみの水揚げで、1隻1航海当りの漁獲量は142kgで平年並みでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、ケンサキイカ、アナゴ・ハモ類を主体に、1統1航海当りの漁獲量は12.3トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、キダイは平年の1.1倍、ケンサキイカは平年の1.2倍、アナゴ・ハモ類は平年の9割でした。その他、マアジは平年の2.2倍、マダイは平年の1.9倍、アマダイ類は平年の1.7倍、マトウダイは平年の1.1倍と好調でしたが、アカムツは平年の1.0倍、アンコウ類は平年の9割、ムシガレイは平年の6割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではニギス、ソウハチ、アナゴ・ハモ類主体の漁況で、総漁獲量は155トンでした。1統1航海当りの漁獲量は693kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ニギスは平年の1.1倍、ソウハチは平年の8割、アナゴ・ハモ類は平年の1.0倍でした。その他、ヤナギムシガレイは平年の1.4倍、ヒラメおよびマダイは平年の1.1倍、アカムツおよびムシガレイは平年の1.0倍、マトウダイは平年の9割、アンコウ類は平年の7割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではマアジ、ブリ、サバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は32.9トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、マアジは平年の1.0倍、ブリは平年の8割、サバ類は平年の4割でした。石見地区ではブリ、サバ類、ケンサキイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は24.5トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の3.5倍、サバ類は平年の1.2倍、ケンサキイカは平年の1.6倍でした。隠岐地区ではブリ、サバ類、ヒラマサ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は38.7トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の9割、サバ類は平年の2.4倍、ヒラマサは平年の1.2倍でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではアマダイ類、ブリ、イサキ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.5kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、アマダイ類は平年の2.1倍、ブリは平年の4割、イサキは平年の1.0倍でした。石見地区では、ケンサキイカ、アマダイ類、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は15.5kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ケンサキイカは平年の1.7倍、アマダイ類は平年の9割、カサゴ・メバル類は平年の1.1倍でした。隠岐地区ではカサゴ・メバル類、スルメイカ、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は24.3kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、カサゴ・メバル類は平年の1.4倍、スルメイカは平年の1.9倍、ブリは平年の5割でした。

【令和８年５月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE（1隻（統）1航海当り漁獲量）		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	―	―	―	―	―	―
	隠岐	マイワシ、サバ類	13,954トン	101%	136%	118トン	98%	136%
イカ釣り（5トン以上）	浜田	スルメイカ、ケンサキイカ	13.2トン	283%	97%	186kg	168%	97%
	西郷	スルメイカ	13.7トン	57%	110%	142kg	66%	120%
沖合底びき網	浜田	キダイ、ケンサキイカ、アナゴ・ハモ類	147トン	182%	88%	12.3トン	137%	104%
小型底びき網	大田	ニギス、ソウハチ、アナゴ・ハモ類	155トン	90%	76%	693kg	93%	90%
定置網（大型）	出雲	マアジ、ブリ、サバ類	427トン	71%	82%	32.9トン	71%	82%
	石見	ブリ、サバ類、ケンサキイカ	98トン	60%	112%	24.5トン	60%	108%
	隠岐	ブリ、サバ類、ヒラマサ	116トン	90%	105%	38.7トン	90%	105%
釣り・縄	出雲	アマダイ類、ブリ、イサキ	30.4トン	73%	87%	19.5kg	74%	81%
	石見	ケンサキイカ、アマダイ類、カサゴ・メバル類	21.3トン	101%	99%	15.5kg	82%	87%
	隠岐	カサゴ・メバル類、スルメイカ、ブリ	20.4トン	79%	98%	24.3kg	77%	105%

※　平年比：過去５年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※　大型定置網漁業のCPUEは１経営体当り漁獲量を示す。

※　水温の評価「はなはだ○○」：約20年に１回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり○○」　：約10年に１回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや○○」　　：約４年に１回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」　　：約２年に１回の出現確率である±0.5℃程度の高さ